

取扱説明書		図番	0228K-01A
品名	FX-4HFB	CAD	PC-01/D/0200
対応ケーブル	SN-4C-HFB/S-4C-FB/BSCX/TVEFCX(890MHz以下対応)	発行年月日	2008年3月6日

<p>①</p> <p>準備</p>	<p>使用工具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナイフ（カッター） ・ニッパー ・挿入治具 T-FX-5 ・スパナ（口幅14mm） ・トルクレンチ <p>14×8.0N・m(80Kg/cm)</p> <p>13×2.0N・m(20Kg/cm)</p>	<p>コネクタ構造図</p>
<p>②</p> <p>組立作業</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。 2. ケーブルの外被を30mm切り取ります。 注意：編組に傷をつけないようにして下さい。 3. ケーブルの編組を折り返します。 4. 専用工具(T-FX-5)にフェルールをセットします。 5. フェルールをアルミ箔と編組の間に挿入します。 注意：折り返した編組にフェルールのツバが密着するまで挿入して下さい。 8. ケーブルのアルミ箔と絶縁体をフェルール端面で切り取ります。 注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。 9. T-FX-5の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。 (中心導体寸法：9mm) 10. 折り返した編組をニッパーにて6mmに切断します。 11. ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。 12. 締付金具にHEX14のスパナで固定し <u>8.0N・m</u> のトルクレンチで本体を確実に締付けます。 	<p>30mm</p> <p>編組 外被 締付金具</p> <p>T-FX-5 フェルール</p> <p>フェルールを密着させる</p> <p>アルミ箔 編組</p> <p>絶縁体とアルミ箔を切断</p> <p>ニッパーにて切断する</p> <p>中心導体 孔</p> <p>6</p> <p>本体 締付金具</p> <p><u>8.0N・m(80kg・cm)</u></p>
<p>③</p> <p>取付</p>	<p>※ コネクタを機器に接続する場合は、規定のトルクレンチを使用して締付けて下さい。</p> <p>標準締付トルク：2.0N・m(20Kg・cm)</p>	<p>機器側 F-J</p>